

1. 活動の概要

9月16日(水)、美郷町立邑智小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、島根県埋蔵文化財調査センターの職員から美郷町内の遺跡と勾玉や管玉など古代の玉について、話を聞きました。美郷町内には約200箇所の遺跡があり、小学校に隣接する邑智中学校の敷地でも遺跡が見つかったこと、美郷町内にある遺跡は山城と製鉄遺跡(たたら)が多く、その次が集落、古墳であることなどを学びました。また、勾玉や管玉など古代の玉の種類や、それを身に着けた人々についても学習しました。

その後、美郷町乙原にある沖丈遺跡おきじょうについて説明を聞き、そこから出土した本物の土器や石の矢じりなどの石器や勾玉、玉つくりの道具などを見ました。土器や玉作りの道具については触ったり持ってみたりして、重さや感触を確かめていました。

休憩のあと、勾玉づくり体験を行いました。体験の時間は短かったですが、柔らかい石を使ったこともあり多くの児童が勾玉を完成させました。勾玉をつくる楽しさと同時に、固い石で玉を作り上げた古代の人たちの努力も理解してもらえたようでした。

2. 活動の様子

1)美郷町周辺の遺跡から古代人の生活の様子を知る・古代の勾玉について知る



「美郷町には約200の遺跡があります。」



集中して説明を聞いている児童の皆さん

2)古代体験活動～勾玉作り～



勾玉の作り方について説明を聞きます。



砥石の代わりにレンガを使って石を削ります。



鉄のヤスリも使って削ってみます。



水をつけながら仕上げ磨き。もうすぐ完成です。

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 勾玉づくりが楽しかった。
- 美郷町にも遺跡があるとわかったことが心に残った。
- 本物の玉や土器を見たことが心に残った。
- 本物の玉作りは時間がかかって大変だろうと思った。
- 管玉など他の種類の玉がつくってみたい。
- 勾玉についてもっと知りたい。(なぜこの形なのか、どんな使われ方だったのか、使う石は決まっているのか)
- 勾玉づくりをまたやりたい。
- 土器など他のものもつくりたい。
- 山城がどこにあるか知りたい。
- 美郷町内の遺跡に行ってみたい。
- 発掘がしてみたい。

2)担任の先生から…

○子どもたちが目を輝かせて1つ1つの話に耳を傾けたり、集中して作業に取り組むことができて良かったです。

3)埋文センターから

アンケートを見ると、勾玉づくり体験の印象が一番強かったようですが、自分たちが住む地域に遺跡があることや本物の土器や石器を見たことが心に残ったという回答もいくつかありました。遺跡や出土品は遠くの町や博物館だけにあるものではなく、実は身近なところにあります。これをきっかけに、自分たちの住む地域について興味を持ってもらえると大変うれしいです。勾玉づくりでは、短い時間の中で多くの児童の皆さんが勾玉を完成させていました。今回は体験用の柔らかい石を使ったので、古代の人々の努力や技術がどのくらいわかってもらえるか心配でしたが、それもしっかりと理解してもらえたようでした。